



小糸小だより

2026年（令和8年）7月1日発行

学校教育目標

じょうぶな子
思いやりのある子
よく考える子
がんばる子
進んでする子



子どもたちの安心・安全について

梅雨空が続き、なかなか快晴とはいかず、気分がすっきりしない日々が続いています。ですが、この時期に雨が降らないと植物の生育が悪くなったり、ダムの貯水量が減り水不足の心配が出たりと、それはそれで困るので、やはり季節に合った気候はとても大切なのだと思う今日この頃です。秋には6年生が日光修学旅行に出かけますが、現状では華厳の滝の水量もかなり少ないらしく、雨の時期にちゃんと雨が降ることで当日には本来の迫力ある姿が見られることを期待したいと思っています。

梅雨が明けると本格的な夏がやってきます。今年度、暑かった日には何度か熱中症対策として休み時間等に注意して過ごすように呼び掛けています。今後は、熱中症指数が嚴重警戒や危険となり、活動が制限されることも想定されます。熱中症予防には、その時々への対応も必要ですが、日頃から体調管理に気を配り、朝ご飯を食べること、十分な睡眠時間を確保することなど、健康的な生活習慣の定着が大切です。ご家庭でもご協力をお願いします。熱中症対策については、保健だよりにも記載がありますのでそちらもご覧ください。



先日は、東京都の小学校で火災が発生し、避難した児童がけがをするという事故が発生しました。その件を受け、校内の危険箇所がないか、想定とは違う場所で火災が発生したら実際の避難経路はどうなるのか、などを話し合いました。なかなか全ての状況を想定するという事は難しいですが、万が一に備えてできることはやっておかなければ、子どもたちの安全は確保できないなど、思いを新たにさせられる事故でした。保護者の皆様から見て児童の安全にかかわることでお気づきのことがありましたらご相談ください。

最後にもう一点、これは子どもたちの心理的な安心に関わる部分ですが「いじめ」の防止についてです。学校は不特定多数の子どもたちが生活する場です。その中では、ちょっとした思い違いや、すれ違い、価値観の違いなどにより、子どもたち同士でトラブルになることが普通にあります。軽い気持ちで話した一言が、実は相手にとってはとても嫌なことだったり、不安にさせてしまうことだったりということもあります。相手の立場に立った言動を心掛けたり、周囲で見たり聞いたりしたときに、勇気をもって止めさせる、それが難しければ先生たちに相談する、といった行動ができると、みんなが安心して学校生活を過ごせるようになります。「いじめ」は許さない、そういった雰囲気子どもたちも、大人も協力して作り、安心して過ごせる小糸小学校にしていきたいと思っています。保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。



児童支援担当より

「ねえ知ってる？雨って神様のおしっこなんだよ？」「え～私は神様の涙だと思ってた。」雨の日々が続く中、1年生の廊下でかわいらしい会話が聞こえてきました。

6月に入り、運営委員会の毎年の企画「いじめ防止スローガンを考えよう。」を各クラス行いました。それぞれのクラスで考えたスローガンをもとに、代表委員会で1つのスローガンに絞ります。学校のスローガンを決める企画ではありますが、いじめについて、各クラス年に1度考える、というねらいもあります。私もいくつかのクラスはいじめ防止スローガンを考える授業を見に行きました。導入では、いじめとは何かを考えさせたり、先生の体験談を子どもたちに語りかけたり、今のクラスを振り返らせたりと様々でしたが、それぞれの教師が想いを込めて子どもたちに考えさせていました。

6年生は、学年集会の中でいじめについて考える時間を作っていました。「いじりと思っていても相手がいじめととらえたらいじめであること。」「いじめは被害者・加害者・観衆・傍観者からなること」等の話をしていました。私も話をする機会を頂いたので、みんなが安心して生活するための3つのことを話しました。

みんなが安心して過ごすために①「自分が傷ついたら」②「誰かが傷ついていたら」③「何か悪いことを言ったりしたりしている人がいたら」先生達に相談しなさいという話をしました。いじめ未然防止のために、困っていることをいつでも相談できる環境をつくるのが大切だと思っています。②、③については、気付いてくれる子がたくさんいるといじめを許さない集団として育っていきます。理想は子ども同士で解決することですが、困ったときには大人を頼ってほしいと思います。

1学期も残り数日になりました。保護者の皆様におかれましても、これまで同様に何かお困りのことがありましたら気軽にお声がけ下さい。

(児童支援担当教諭)

学校徴収金（スクペイ）について

今年度より導入しました「スクペイ」ですが、運用して気づいたことやお願いしたいことをお伝えします。

- ①自動引き落としではないので、期日までにスクペイから入金をお願いします。
- ②全児童分が集金されたのちに、業者へ一括払い込みとなります。ご家庭からの集金が遅れてしまうと、翌月末までに業者への支払いができなくなります。
- ③様々な理由でコンビニ払いを利用される方もいらっしゃることもあります。コンビニ支払いの用紙は発行日から2週間しか使用できませんので、ご注意ください。

★保護者の皆様のご協力により、期限内に業者への支払いが成立します。期日を守っていただくよう、よろしくお願いいたします。

リーフレット「楽しい学校生活を送るために」について



セクシュアル・ハラスメント防止のために、藤沢市では小学校高学年向けにリーフレットを作成し、毎年4年生に配付しています。

また、藤沢市教育委員会のホームページにも掲載しており、いつでも閲覧いただくことができますので、2次元バーコードを読み込んでいただき、ぜひお子様と一緒に内容をご確認ください。

セクシュアル・ハラスメントなど、何か困ったことがあったときは、学校や相談機関に遠慮なくご相談ください。

藤沢市教育文化センター 教育文化講演会

探究する心を育てるために

～身近な疑問が出発点に～



なぜ鳥たちは群れをつくるのでしょうか。インコはなぜ、人間の言葉をまねするのでしょうか。私たちが普段、何気なく見ているスズメやツバメやカラスなどの身近な鳥たちも、その生活を深く知れば知るほど、分からないことがいっぱい出てきます。

さて、探究することそのものを楽しむ心は、どのように育んでいけばよいのでしょうか。鳥の研究の第一人者である、日本野鳥の会会長・立教大学名誉教授の上田先生のお話から一緒に考えていきましょう。

〔講師〕 上田 恵介 氏

動物行動学・進化生態学・鳥類学を専門とし、環境問題の研究にも取り組んでいらっしゃる第一人者です。野鳥を知ることを通じて、自然全体を知ることの大切さ、守ることの重要性、そして自然の生態系の仕組みなどを広く伝えています。研究者としての豊富な経験から語られるお話は、やわらかくわかりやすい解説として、「NHK ラジオ子ども科学電話相談」や、テレビ番組「ダーウィンが来た」でもおなじみです。

と き 8月19日（水）14:00～16:00

（入場無料 手話通訳有）

ところ 湘南台文化センター 市民シアター

定 員 600 人

申込方法 二次元コードもしくは電話

申込み 7月24日（金）～8月5日（水）

申込フォーム（二次元バーコード）より

電話 Tel (50) 8300

受付 平日 8:30～17:00



藤沢の子どもたちのためにつながる会 みんなで学ぶ学習会

家族で学ぶ 心が強くなれる合気道の極意！ 護身術編

2025 年度講演会『心が強くなれる合気道の極意！』では、参加された皆さんから「子どもと一緒に体験してみたい。」という声がたくさん寄せられました。そこで今年の夏休みは、親子やご家族、そして教職員の皆さんも一緒に楽しめる学習会を開催します。『護身術』と聞くと、どんなことを思い浮かべますか。実は、相手を投げることだけではありません。持っている力を最大限に発揮する合気道の極意から身近な危険への事前の備え方・防ぎ方を家族で共有しませんか？ぜひご参加ください。



講師：戸田 貴之 氏

心身統一合気道会 師範

要心館道場（湘南台）館長
神奈川県内の道場教室での指導の他、心身統一合気道会が主催する中高生向けの全国大会に金賞をはじめ上位入賞者を毎年輩出するなど青少年の育成にも力を入れる。

《日時》2026 年 8 月 19 日（水）

《時間》10：00～12：00

《場所》F プレイス（藤沢市民センター・労働会館等複合施設）多目的室 1

《申し込み方法》右の二次元コードからお申込みください。（締切 8/12）

《お問い合わせ》藤沢市教育総務課 PTA 担当 電話 0466 - 50 - 3556（直通）

